

# 道路状況と交通

一般道を走る区間と、自転車道を走る区間で、道路の状況や交通の注意点が大きく変わってくる。コース序盤の一般道では交通量、信号、交差点が多く、路側帯の狭い区間では車への注意が特に必要で、神経を使う場面が多い。一方で浜名湖周遊自転車道に入ると、一般道のような走行ストレスは無いものの、代わりに、歩行者や対向車、車止めや湖からの堆積物などに注意を払う必要が出てくる。自転車道だからと安心して気が緩まないよう注意したい。コースの起伏は全般に少なく、距離の設定次第でサイクリングの初心者でも無理なく走ることができるだろう。



湖岸道路は路面が悪い箇所も多いが、ミニペロやクロスバイクならば気にならないという意見も多かった。夏を中心に歩行者が多く、草が道路まで伸びてくることも多いので注意したい。

車止めについて、配置が悪く、幅も狭く、すり抜られない、前後の間隔が短く接触しそうな等の問題がある。また、設置個所によって車止めの大きさや形状が異なり、存在の認識に時間がかかる。デザインを統一することで大きく改善される可能性がある。基本的に設置数が過剰ではないか。



銀色は確認しにくいとの意見もあり



幅が狭く抜けにくい



## セクション4:総評

大崎半島に入ると路面の状態が大きく変化し、半島の湖岸沿いのみは景観に優れるものの、路面の凸凹が大きく狭い。シーズンには多くのレジャー客も道を行き交うため、ロードバイクでの走行には注意が必要で、スピード走行は極めて危険である。



既存のサインは小さく、進行方向に対して平行な物も多く気づきにくい



右が一周ルート、看板が平行に取り付けられていて見えない



※CRIに入るには左折し歩道に乗る必要がある

出口側の見えない急カーブが多く、対向車や歩行者との接触の可能性がある。減速を促すサインや、通行区分の表示が必要だが、サイクリスト自身の注意力に任せているのが現状。

## セクション3:総評

自転車道と一般道との分離や接続点に分かりにくかった。分岐が多い区間だけに、どこがコースなのか、現在地はどこなのか、を分かりやすく伝えられることが望まれている。



外側には落ち葉が溜まっており、自然と内側を走ってしまう



湖岸へ行くには左折→左折、どちらも看板は小さい



CRIに入るにはこの交差点から歩道に入る必要がある

サインが無い箇所、サインがあっても分かりにくい箇所が多く、自転車を推奨ルートへ正しく誘導できない。また、自転車道が車道を走行することを考慮していないのか、車道を走行していると自転車道へ入れない、ルート通り走行していると幅の狭い自歩道に進入してしまう、といった問題がある。

## セクション2:総評

浜名湖自転車周遊道に入ると、車のストレスがなく走りやすくなるが、車止め、湖からの堆積物、ブラインドコーナー、路面のひび割れに注意が必要である。対向車との出会い頭の衝突を未然に防ぐために、カーブミラーの設置を望む声がある。

## START

## 道の駅潮見坂

## セクション1

## セクション1:総評

道の駅から県道417号線に合流するまでは、大きな問題はなく走りやすい。それ以後は交通量が増え、信号、交差点、路側帯の狭さに神経を使うこととなる。

左折レーンが設置されている交差点を安全に直進するのが難しい。弁天島の交差点は先に左折が青信号になる為、特に複数で走行している場合は非常に難しい。



自転車道は静かに走ることができて気分が良い。道幅が広いので歩行者も余裕を持ってかわすことができる。